

# 地球温暖化対策中間報告書

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

### (1) 地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名 (法人にあつては名称及び代表者又は管理者の氏名)	オリンパス株式会社 高林 裕 (技術開発センター宇津木事業場長)
地球温暖化対策事業者等の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都八王子市久保山町2丁目3番地

### (2) 事業所の概要

事業所の名称		オリンパス技術開発センター宇津木		
事業所の所在地		東京都八王子市久保山町2丁目3番地		
業種等	事業の業種	分類番号	F31 F:製造業 ▼ 精密機械器具製造業 ▼	
		産業分類名	精密機械器具製造業	
	事業所の種類	主たる用途	※部門分類 <input type="radio"/> 産業 <input checked="" type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 工場 <input type="radio"/> 熱供給施設 <input type="radio"/> 上水道・下水道施設 <input type="radio"/> 廃棄物処理施設 <input checked="" type="radio"/> 事務所 <input type="radio"/> 商業施設 <input type="radio"/> 宿泊施設 <input type="radio"/> 教育施設 <input type="radio"/> 医療施設 <input type="radio"/> 文化施設 <input type="radio"/> その他 ( )	
		建物の使用形態	<input type="checkbox"/> テナントビル等に該当	
		事業の概要	研究開発	
主なテナント事業者等の概要 (テナントビル等の場合に記載)		(1) テナント事業者等の名称		
		(2) テナント事業者等の名称		
		(3) テナント事業者等の名称		
敷地面積		40,677	m <sup>2</sup>	
建物の延べ面積		25,292	m <sup>2</sup>	

### (3) 担当部署

計画の担当部署	名称	八王子総務部設備環境G	
	連絡先	電話番号	042-642-2157 (ダイヤルイン)
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	
公表の担当部署	名称	八王子総務部設備環境G	
	連絡先	電話番号	042-642-2157 (ダイヤルイン)
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	

## (その2)

## (4) 地球温暖化対策中間報告書の公表方法

公表期間	平成19年7月30日 ~ 平成22年3月31日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス: <a href="http://www.olympus.co.jp/jp/corc/environment/data/factorylistj.cfm">http://www.olympus.co.jp/jp/corc/environment/data/factorylistj.cfm</a>
	<input type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所:
		所在地:
		閲覧可能時間:
	<input type="checkbox"/> 冊子	冊子名:
	入手方法:	
	<input type="checkbox"/> その他	

## 2 計画期間

17 年度 ~ 21 年度

## 3 温室効果ガスの総排出量の状況

(1) 前年度の温室効果ガスの総排出量 単位:t(二酸化炭素換算)

CO <sub>2</sub>	CH <sub>4</sub>	N <sub>2</sub> O	HFC	PFC	SF <sub>6</sub>	合計
3,727						3,727

(2) 総基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの総排出量の推移 (単位:t(二酸化炭素換算))

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
総排出量	3,810	4,005	3,727			
基準排出量 比増減率		-5%	2%			

## 4 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)等

(1) 温室効果ガスの排出の量 (前年度: 18 年度)

ア 前年度の温室効果ガスの排出の量 単位:t(二酸化炭素換算)

CO <sub>2</sub>	CH <sub>4</sub>	N <sub>2</sub> O	HFC	PFC	SF <sub>6</sub>	合計
3,691						3,691

イ 前年度の建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量の状況等(業務部門に該当する場合のみ記載)

建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量	145.9 kg/m <sup>2</sup> ・年
建物の延べ面積当たりのエネルギー消費量	3,390 MJ/m <sup>2</sup> ・年

ウ 基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの排出の量の推移 単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	3,774	3,972	3,691			
基準排出量 比増減率		-5%	2%			

(2) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況

対策分類ごとの措置の実施状況(実施の有無)	基本対策	<input type="radio"/> すべて完了 <input checked="" type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし
	うち、運用対策	<input type="radio"/> すべて実施 <input checked="" type="radio"/> 一部実施 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし
	目標対策	<input type="radio"/> すべて完了 <input checked="" type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし

目標の達成状況	推計実績削減量(目標対策分)	54 t-CO <sub>2</sub>
	推計実績削減率(目標対策分)	1.4%
目標削減率		2.6%
基準年度中に完了した削減対策のうち、目標対策に相当するものの実施による削減率		2.4%

(その3)

5 自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

ア 前年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO <sub>2</sub>	CH <sub>4</sub>	N <sub>2</sub> O	HFC	PFC	SF <sub>6</sub>	合計
36						36

イ 基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	36	33	36			
基準排出量 比増減率		8%	0%			

(2) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

排出の抑制に係る措置の実施状況	<input type="radio"/> すべて完了 <input type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input checked="" type="radio"/> 計画なし
-----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等に関する総括

平成18年度については、CO<sub>2</sub>実績が3,727CO<sub>2</sub>-tと基準排出量3,810CO<sub>2</sub>-tに対して▲83CO<sub>2</sub>-tの削減となった。主な理由として、空調設備の管理徹底、照明設備の省エネ化画を計画通り実施した。

(中間年度以降の取組方針)

今後については、照明器具のインバーター導入、省エネベルト導入、設備の運用改善を実施する。特にクリーンルームの運転方法の改善を計画しており、CO<sub>2</sub>発生量の大幅削減を目指していく

## (その4)

## 7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況(個表)

## (1) 基本対策及び目標対策

対策No	対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称も記載すること。)	対策レベル	追加年度	計画時の削減効果見込量(t)	達成状況		備考		
					推計実績削減量(t)	推計実績削減率(%)			
1	電力計測システム導入による電力使用の有効活用	目標対策 ▼		31	34	0.90%			
2	冷凍機の出口温度管理	基本対策(運用) ▼		7	7	0.18%			
3	蒸気バルブの断熱強化	基本対策 ▼		4	4	0.10%			
4	個別空調のコンプレッサー間欠運転仕様変更	基本対策 ▼		2					
5	外気導入量の適正管理	基本対策(運用) ▼		11	11	0.29%			
6	省エネVベルトへ更新	基本対策 ▼		2					
7	照明機器のインバーター化(第1期)	目標対策 ▼		12	15	0.38%			
8	照明機器のインバーター化(第2期)	目標対策 ▼		18					
9	照明機器のインバーター化(第3期)	目標対策 ▼		13					
10	省エネ自動販売機の導入	目標対策 ▼		11	5	0.13%			
11	建物東面・南面・西面の窓ガラスに日射調整フィルムの貼付け	目標対策 ▼		15					
12	温湿度の管理	基本対策(運用) ▼		12					
13	ポンプのインバーター化	基本対策 ▼		6					
14	E館クリーンルーム管理方法(運転方法)の改善	基本対策(運用) ▼	18	305					
15		▼							
合計					76	2.0%	計画削減量(t)及び計画削減率(%)	450	11.9%
合計(うち目標対策分)					54	1.4%	目標削減量(t)及び目標削減率(%)	100	2.6%

(その5)

(2) 再生可能エネルギーの導入に係る措置

ア 再生可能エネルギーの導入に係る考え方

--

イ 再生可能エネルギーの導入計画及び前年度末における導入実績  
(事業所内で設備導入を行うものに限る。)

再生可能エネルギーの種類(発電)	単位	実績導入量	計画導入量	概要 (導入時期、規模、方法等)
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

再生可能エネルギーの種類(熱利用)	単位	実績導入量	計画導入量	概要 (導入時期、規模、方法等)
	GJ			
	GJ			
	GJ			
計	GJ			

8 事業所内で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係るその他の措置

(1) 事業所における再生可能エネルギーの環境価値の保有

種類	単位	実績導入量	計画導入量	概要 (導入時期、規模、方法等)
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

(2) その他の取組

事項	取組概要		
テナント事業者等への還元のための措置			
廃棄物の削減	飲料容器の業者返却による発生量削減	削減予定量 3 t	実績 3 t
グリーン調達	全社購買システムによるエコ製品の購入実施 グリーン購入率69% (前年度比+5%)		
物流の効率化			
その他、社員の通勤における削減対策等	チーム・マイナス6%に参加 通勤バス1台を☆☆☆のエコカーに変更した。		

(その6)

9 自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進捗状況及び目標の達成状況等(個表)

(1) 自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況

対策 No	対策の名称	計画			達成状況		備考
		対策導入率等		削減効果 の見込量 (t)	導入率 等	対策完了に よる削減効 果の量(t)	
		現状	目標				

(2) 自動車等に係るその他の事項

--

## (その7)

## 10 事業所外で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

事項		(達成状況)				
都内で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策	照明機器のインバーター化、冷凍機の出口温度管理、外気導入量の適正管理	削減量	見込 57	実績 57	t-CO2
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策	宇津木地区の自治会の役員15名を事業場に招待して、事業場内の見学と意見交換を実施				
	植林、緑化等		導入量	予定	実績	m <sup>2</sup>
	その他	全社でチーム・マイナス6%に参加				
都外で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策	窓対策(フィルム/二重化)、屋根断熱、照明改善、個別空調改善、太陽光利用	削減量	見込 256	実績 256	t-CO2
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策					
	植林、緑化等		導入量	予定	実績	m <sup>2</sup>
	その他					
上記以外で、他の事業者、消費者等の温室効果ガスの排出の抑制に寄与する取組等						